

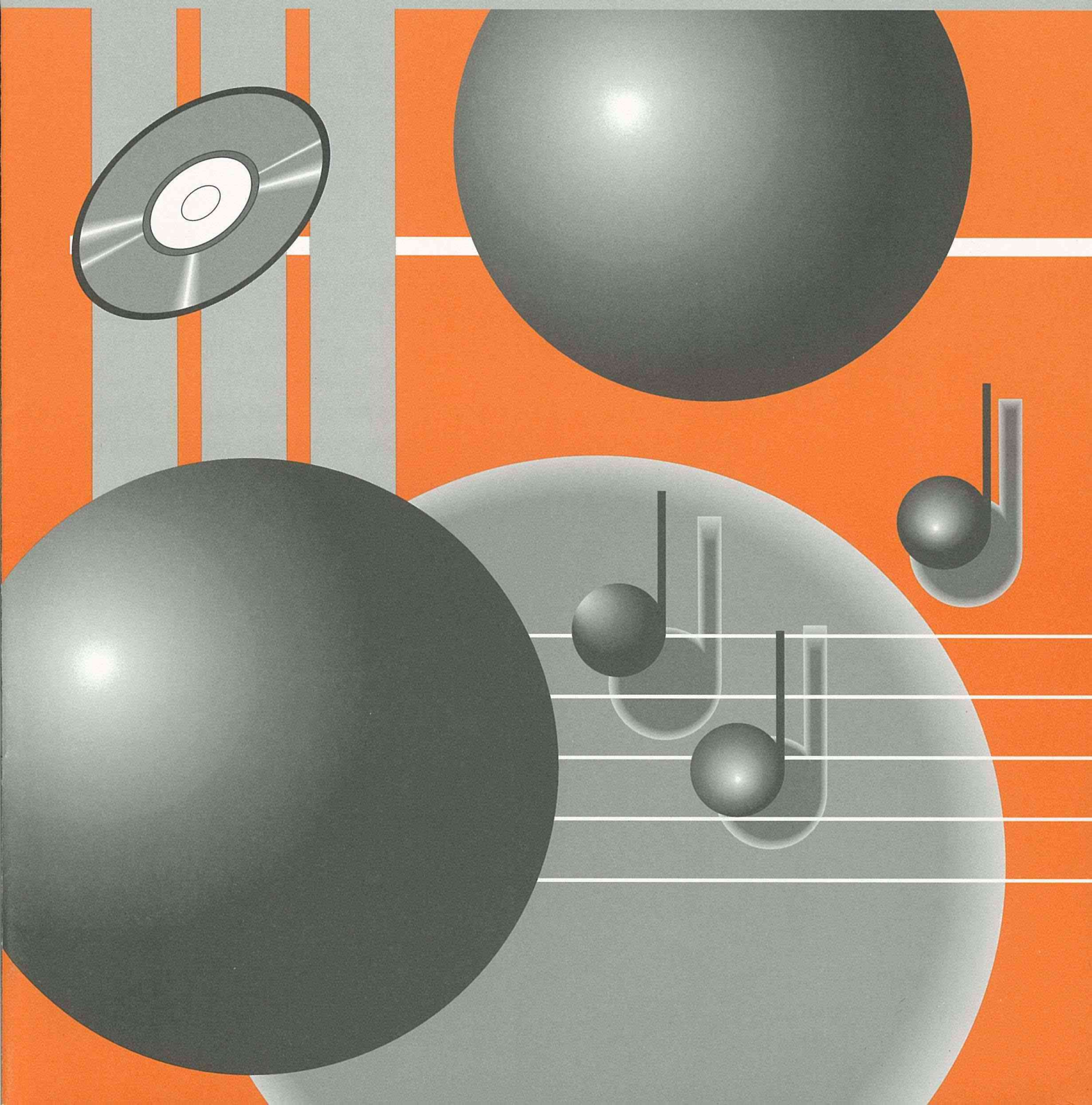
THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

- 1997年の重要課題
- 1996年レコード生産概況
- 著作権法改正さる一隣接権保護期間50年に
- レコード会社が選んだ1996年の10大ニュース

1997.1

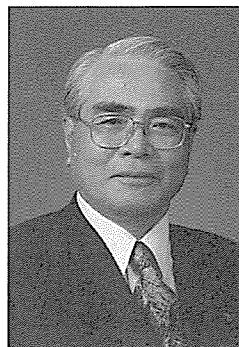
No.446



年頭所感

音楽は、いま新しい技術の時代へ… 新時代の枠組みと秩序づくりを！

社団法人 日本レコード協会
会長 高野 宏



皆様には、輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年の日本経済は、夏場に足踏み感がみられたものの全般的には、前年に引き続き回復基調が持続されました。しかしながら、業界を取り巻く環境は一段と厳しいものとなり、特に再販問題は、積極的に擁護運動を展開するとともに、その意義と重要性について鋭意説明に努めましたが、業界の要望・意見はほとんど取り入れられないまま、規制緩和委員会『報告書』の提示に至りました。また、衛星デジタル放送の開始やインターネットによる音楽配信は、新しい音楽環境を作り出すこととなり、新たな対応を迫られました。

一方、昨年は、著作権隣接権を50年間遡って保護する、いわゆる「50年遡及問題」が解決するとともに、音楽の「オン・デマンド方式」の送信における権利保護を含む新条約が論議されるなど、国際的にも重要な年となりました。また、11年振りに東京で行われたIFPI理事会の成功は、今後のレコード製作者の権益拡充にとって大きな影響を与えるものとなりました。

さて97年は、厳しい状況にある再販問題が正念場を迎える折から、『再販制度存続』の運動は、引き続き重要な課題といえます。わが国の音楽産業が再販制度の下で音楽文化の維持向上に努めユーザーにとっても大きなメリットとなってきたことは異論のないところですが、更に理解を求めていくことが必要と考えます。また、デジタル化、ネットワーク化の進展に伴うレコード製作者のビジネスへの影響を見極めると同時に、新しい権利の確立にも力を注がなければなりません。新しい技術が音楽業界にとって新しいビジネスチャンスを生み出すとはいえ、自らの変革や従来の諸制度の見直しは不可欠です。特に著作権制度の整備充実がわが国の国際的役割を含め極めて重要なものがあります。

21世紀は、日本が世界でいかなる地位を占めているかが大変に重要であり、それに向けた社会・経済の構造改革は今世紀の課題といわれています。音楽産業においても新しい技術の時代に入り、それに相応しい調和のとれた法律制度の確立と再販制度を根幹とする流通の安定化が望まれます。ユーザーニーズが十分に満たされ、レコード産業が発展するとともに、音楽文化が大きく花開く21世紀に向けて、『新たな枠組みと秩序』づくりに力を注いで参りたいと存じます。

皆様のなお一層のご支援をお願い申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

1997年の重要課題

新しい年を迎えるに当たって、レコード協会では、加盟各社に「1997年の重要課題」として意見を求めました。

その結果、以下に紹介する項目が重要課題として指摘されました。97年は、再販問題を含む規制緩和、著作権審議会マルチメディア小委員会による検討と著作権法改正、DVDオーディオの規格化、インターネット等音楽配信の方向性等あらゆる意味で音楽産業の将来の姿が見えてくるものと考えられます。それだけに重要課題の解決に積極的に取り組んでいくことが必要です。

再販制度存続と健全な市場発展のための課題

●再販制度存続のための積極的活動

規制緩和の流れとも相まって、再販問題は本年正念場を迎え、引き続き、レコード業界にとって最重要課題となります。行政改革委員会規制緩和委員会、公正取引委員会再販問題検討小委員会においても、継続して、著作物の再販制度の見直しについて議論を行い、98年3月末までに独禁法上の著作物の範囲の明確化を図ることになっています。このような状況のもと、音楽関連10団体による音楽文化懇談会は一段とその役割の重要性を増すものと思われます。当協会独自の活動に加えて、音楽文化の保護、発展のために、音楽関係者が一致団結して、再販制度の存続・維持に最大限の努力を続けていくことが不可欠です。

●需要拡大のための諸施策実施

需要拡大は、レコード業界としての重要課題であると共に、ユーザーに良質な音楽を提供するための施策でもあります。第10回目の成功を踏まえて取り組む日本ゴールドディスク大賞の顕彰、多くのメディアに定着したゴールドアルバム等の認定・ヒットチャートの公表、2千タイトルを越えたQ盤キャンペーンの実施、音楽ギフトカードの普及促進等、いずれも、会員各社の積極的な協力体制により、成果を挙げていかなければなりません。今後とも、業界全体の需要拡大に向けて充実した施策の実施が求められます。

レコード製作者の権益保護拡充に関する課題

●「送信権」「輸入権」「演奏権」の獲得

デジタル化、ネットワーク化が進展する時代にあって、音楽の「オン・デマンド方式」の送

信におけるレコード製作者の権利保護の問題は益々重要性を増しています。また、音楽商品が国境を越えて行き来する中で「輸入権」の確立も緊急課題です。これらについては、国際的な問題として世界が日本の動向を見守っており、早期解決が望まれます。従来から要望が続いている「演奏権」獲得と共に引き続きその取り組みを強化していかなければなりません。

●不法複製問題の解決

海賊盤、カラオケ教室における不法複製、ブートレックはいずれもレコード産業の根幹を揺るがす問題です。法的対応も含め、撲滅を図ることが必要です。

技術革新に関する課題

●デジタル化、ネットワーク化への対応

デジタル化、ネットワーク化は技術的にも多くの問題をレコード産業に提起しています。インターネットによる音楽配信やCD-Rの普及拡大に対し、積極的に問題解決を図らなければなりません。法制化やコピーガードシステムの確立、ISRCによるデータ管理、近い将来予想される高音質な音楽配信事業への対応等様々な取り組みが必要です。

●新デジタルメディアへの対応

CDのパッケージメディアとしての機能と魅力向上のために、高付加価値化について更に研究を深め、ユーザーの新しいニーズに応える商品を提供していかなければなりません。DVDビデオの拡大発展に力を注ぐと共に、DVDオーディオを始めとした新しいデジタルメディアに対しても、ソフトウェア業界の立場から、技術研究、規格提案等を積極的に行っていきます。

1996年レコード生産の概況

1996年（1～12月の推計）のレコード生産概況は、オーディオレコード、A V複合型レコード及びビデオレコードを合わせた総生産は、数量58,788万枚・巻（前年比104%）、金額7,276億円（前年比100%）と予測されます。好調だった前年に比べビデオレコードが9%マイナスとなったため、数量では微増、金額では横並びとなりました。＜当協会加盟30社の集計＞。

オーディオレコードの生産数量は、47,200万枚・巻（前年比101%）、金額は、5,822億円（前年比101%）となりました。

その内訳はアナログディスクとコンパクトディスクは前年を上回ったものの、主力のコンパクトディスクが前年ほどの伸びをみせず、金額で5,610億円（前年比102%）となりました。また、オーディオテープは、8年連続で前年割れとなりました。

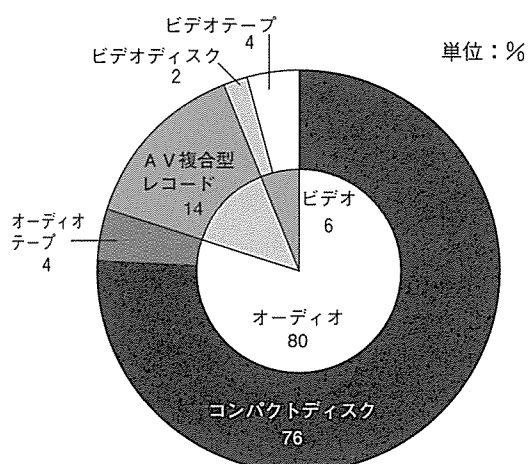
A V複合型レコード（CDグラフィックス、ビデオCD、CD-ROMなど）の生産は、数量8,004万枚（前年比134%）、金額259億円（前年比106%）となり好調に推移していますが、数量の伸びに比較して金額ベースでは小さくなっています。

ビデオレコードは、数量3,585万枚・巻（前年比91%）、金額1,195億円（前年比91%）となり、ディスク、テープ共に前年を下回りました。

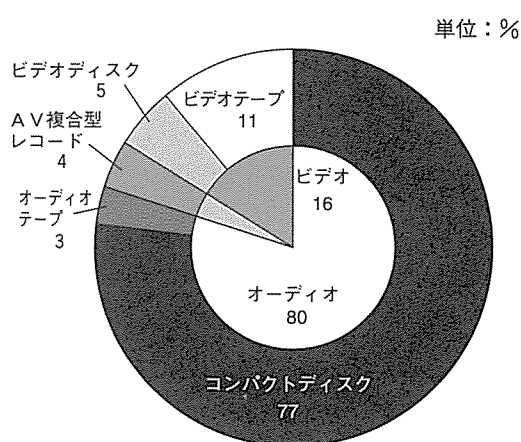
1996年レコード総生産高（推定）

種 類		数 量 (万枚・巻)	構成比 (%)	前年比 (%)	金 額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)
オーディオ レコード	コンパクトディスク	44,865	76	102	5,610	77	102
	アナログディスク	90	0	169	13	0	143
	小 計	44,955	76	102	5,622	77	102
	テ ー プ	2,245	4	90	200	3	91
	合 計	47,200	80	101	5,822	80	101
A V 複 合 型 レ コ ー ド		8,004	14	134	259	4	106
ビ デ オ レコード	デ ィ ス ク	1,303	2	87	383	5	88
	テ ー プ	2,282	4	93	812	11	93
	合 計	3,585	6	91	1,195	16	91
総 合 計		58,788	100	104	7,276	100	100

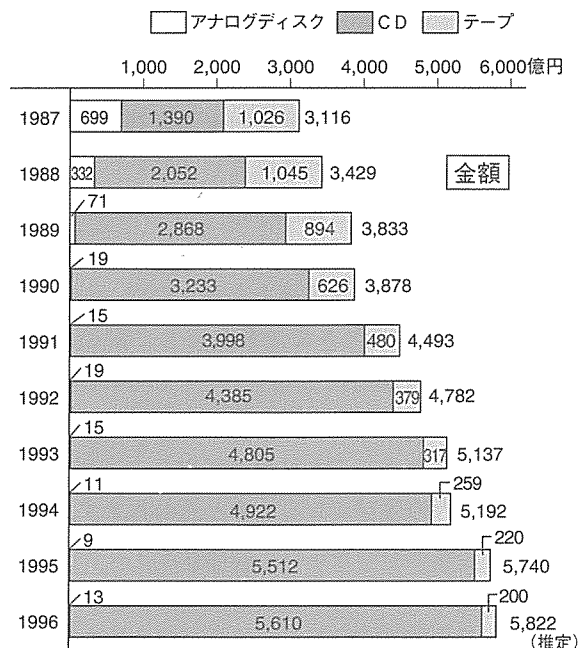
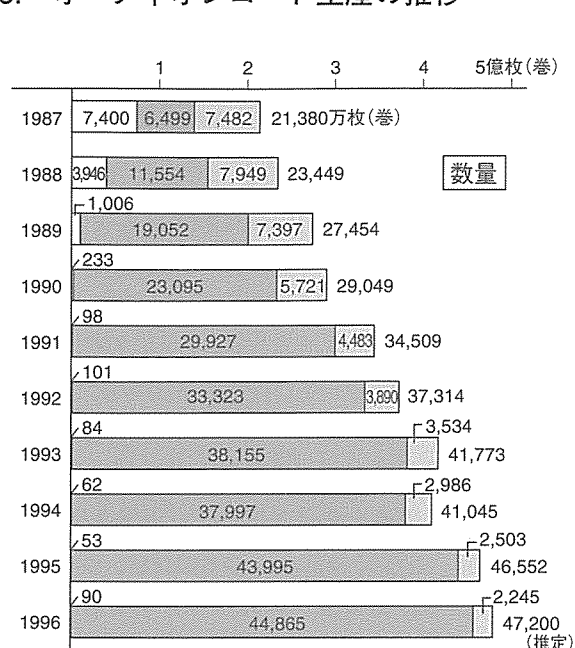
1. 1996年生産数量比率（推定）



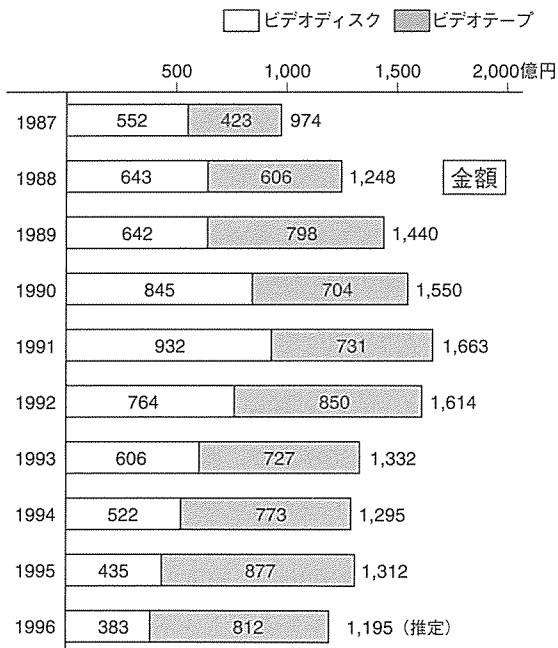
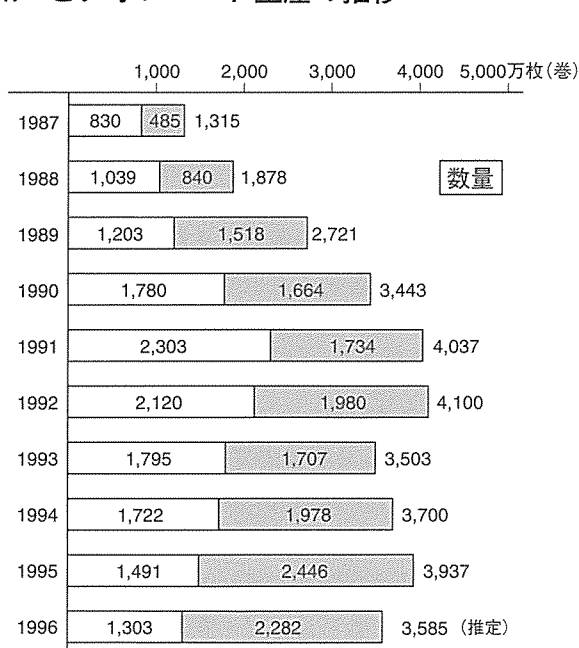
2. 1996年生産金額比率（推定）



3. オーディオレコード生産の推移



4. ビデオレコード生産の推移



著作権法改正さる——隣接権保護期間50年に

著作権法の一部を改正する法律が、平成8年9月の著作権審議会第一小委員会の審議経過の報告を経て、12月の臨時国会で可決成立しました。この改正著作権法は、平成8年2月、アメリカ政府がWTO（世界貿易機関）に提訴して以来急速に問題化したレコードの50年間遡及保護を含むもので、レコード製作者の権利が拡大されたものとして評価されます。既に、12月26日に公布され、「公布の日から起算して3ヶ月を超えない範囲において政令で定める日から施行される」ことになっており、本年の早い時期には施行の運びになるものと思われます。

改正著作権法の内容は以下の通りです。

1. 著作隣接権の保護対象の遡及的拡大

米国やEC関係国などのWTO（世界貿易機関）加盟国のレコードなどの保護については、我が国は、平成6（1994）年に著作権法を改正し、現行著作権法の施行された昭和46（1971）年以降のレコードなどを遡及的に保護することとしました。しかし、その後、我が国以外のWTO加盟の先進諸国では、50年前までのレコードなどを保護することとした国が大勢を占めることとなったことなどを踏まえ、我が国も他の先進諸国と同様に、50年前までの我が国およびWTO加盟国のレコードなどを著作隣接権の保護対象とすることとしたものです。

なお、これに伴い、旧著作権法下の演奏歌唱・録音物のうち現行法の著作隣接権による保護に引き継がれることとなったものに関する著作隣接権の保護期間については、これまでの「旧著作権法の著作権の存続期間（＝死後30年まで、団体著作物の場合は発行・興行後30年まで）のうち昭和46年1月1日時点での残存期間」としていたものを、原則として、第101条の規定による期間（＝レコードへの音の固定などののち50年間）とすることとしました。

今回の改正法が今年施行されることにより、1947年以降に固定されたレコード等が保護されることになり、このため、一部には保護が復活するものが生ずることとなります。

2. 民事上の救済規定の整備及び罰金額の引上げ

民事上の救済規定の整備については、情報化の進展などに伴う法的紛争の円滑な解決およびその未然の抑止のため、特許法などの他の知的所有権法制にならない、損害立証書類提出命令規定を整備することとしました。

これは、権利侵害を受けた当事者の申立てに従い、裁判所が、損害額を計算するために必要な資料を、相手当事者に提出するよう命令することができるとするもので、侵害を受けた当事者は正確な損害額を計算することができるようになります。

著作権、著作隣接権等の侵害に対する罰金額は、昭和59年に現行の「100万円以下」として以来、10年以上が経過しており、また、他の知的所有権法制の刑と比較して均衡を欠いていることから、罰金額の上限を「300万円以下」に引き上げることとしました。

これに伴ない、他の権利侵害に対する罰則を定める条文についても、罰金額を3倍に引き上げることとしました。

3. 写真の著作物の保護期間の延長

写真の著作物の保護期間については、従来、国際的に公表時起算の場合が多く、また、写真の著作物については、著作者名の表示を欠く場合が多かったことなどから、現行法制定の際に、一般の著作物と異なり、その保護期間を「公表後50年まで」とする特例が設けられました。しかし、現在はその保護期間を著作者の死亡時起算とする国が多くなったこと、WIPO（世界知的所有権機関）において検討されていた新条約（昨年12月に採択）においてもその保護期間を「著作者の死後50年まで」とすることとされていたこと、さらには従来課題とされていた写真の著作物の著作者の氏名表示率も高水準化してきたことなどを踏まえ、写真の著作物に係る特例を廃止し、その保護期間を一般の著作物と同様に「著作者の死後50年まで」に延長することとしました。

レコード会社が選んだ1996年の10大ニュース

当協会加盟社から、1996年の10大ニュースを寄せていただきました。類似内容については各社の選出趣旨を損なわないよう留意して項目をまとめました。

1. 再販制度擁護運動を強化

行政改革委員会規制緩和小委員会は、7月に「規制緩和に関する論点公開（第4次）」を、また、12月に「平成8年度規制緩和推進計画の見直しについて」を発表、著作物の再販制度の見直しについて今後更に議論を進めていく旨の言及を行いました。また、公正取引委員会でも、10月に政府規制等と競争政策に関する研究会で、引き続きこの問題を検討し、98年3月末までに結論を出す旨発表しました。

これに対し、当協会では、音楽関連10団体で構成する音楽文化懇談会を中心とした擁護運動を強化しました。1、2月の2度にわたる決起大会の開催、50万人署名運動、関係国会議員、文化庁、通産省、公正取引委員会、行政改革委員会等への陳情活動等、著作物の再販制度の意義を訴える活動を精力的に行いました。

2. デジタル化、ネットワーク化に新たな動き

96年は、デジタル化、ネットワーク化が本格的な事業として動き出した年になりました。音楽配信事業等を始めとする各種インターネット事業の本格化、衛星デジタル放送の開始、CD-EXTRA、CD-TEXT、DVDビデオの発売、ISDNの普及等、我々を取り巻く環境はドラスティックに変化しています。新しい時代に対応した著作権法の整備がいよいよ急務となってきました。WIPO（世界知的所有権機関）では著作権、著作隣接権に関する新条約の論議がされ、また、国内では10月に著作権審議会マルチメディア小委員会が再開、委員会としてのまとめを急ぐこととなり、文化庁では早い段階で法改正を実施する方向で検討に入りました。

3. 著作権法改正

著作権審議会第1小委員会で審議されていた著作権法の改正5項目のうちの3項目が12月臨時国会で可決され、今春施行されることとなりました。

改正項目は、①写真の著作権保護期間の著作者の死後50年への延長、②裁判所による損害立証資料の提出命令を可能にし、その罰則強化（罰金の増額）、③実演家とレコード製作者の保護の50年遡及、です。

著作権保護期間の70年間への延長と附則14条の廃止（著作権者のレコード演奏権）については、更に審議が必要であるとして、法制化には至りませんでした。

4. 再販擁護総決起大会開催

2月22日に音楽文化懇談会主催による再販擁護総

決起大会が東京で開催されました。音楽関連産業に携わる1,300人が一堂に会し、再販擁護のアピールを行いました。また、国会、関係官庁周辺のデモ行進を行い再販擁護を強く訴えました。

5. 日本ゴールドディスク大賞10周年

1987年に創設され、「いま日本で最も親しまれているアーティスト・作品」を顕彰する権威ある音楽賞として定着してきた日本ゴールドディスク大賞が、10周年を迎えました。邦楽・洋楽の両大賞受賞者が出席し、10周年の記念イベントにふさわしい盛り上がりを見せました。

6. DVD発売

次世代の大容量記録メディアとして注目を集めていたDVDは、11月にDVDビデオのハードとソフトが発売されました。しかし、その本格普及には、複製問題を始めとした著作権の整備等、我々ソフト業界が取り組んでいかねばならない問題が残されています。DVDオーディオの規格の制定も今後の課題となっています。

7. 外資系大型店の出店加速と市場変化

96年に入っても積極的な外資系大型店の進出が続く、店舗数は全国で60店を越えました。既存店でも、大型化、複合化が目立った1年でした。また、ヒット指向がより鮮明になり、ビッグアーティストの新譜発売の有無が大きく市場を左右する傾向が顕著になりました。

8. 複製問題クローズアップ

ジョイサウンド社発売CDへの差止仮処分申請、カラオケ教室における複製問題、ブートレック問題等不法複製問題がクローズアップされました。また、CD-R機器の低価格化と普及が顕著となり、業務用と民生用の区分けが困難になってきました。

9. IFPI理事会、11年振りに東京で開催

日本で11年振りにIFPI理事会が開催されました。WIPOにおける「著作権保護に関する条約」と実演家とレコード製作者の保護に関する条約」案に対するレコード製作者の立場での協議等が行われました。

10. 各社社長交替相次ぐ

TE社、SME社、PC社、EW社、NA社、ME社の6社で、トップが交替しました。

HIT CHART DATA 1996年11月度(96年10月21日～96年11月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
----	------	--------	-----	-----

■邦楽・洋楽合同シングル BEST7

1. NOW AND THEN～失われた時を求めて	MY LITTEL LOVER	96.10.28	(TF)
2. Can't Stop Fallin'in Love	globe	96.10.30	(AVT)
3. PRIDE	今井美樹	96.11.4	(FL)
4. クラシック	JUDY AND MARY	96.10.28	(SME)
5. NICE BOY!	シャ乱Q	96.11.14	(BMG)
6. SHAKE	SMAP	96.11.18	(V)
7. YELLOW YELLOW HAPPY	ポケットビスケッツ	96.9.4	(TO)

■洋楽シングル BEST7

1. アルフィー	ヴァネッサ・ウィリアムス	96.11.4	(MME)
2. ステイ・トゥゲザー	MR.BIG	96.11.10	(EW)
3. オジャパメン (オジェパ・イヤギー～ゆうべの話～)	消防車 (ソバンチャ)	96.10.25	(PS)
4. TO LOVE YOU MORE	セリーヌ・ディオンwithクライズラー&カンパニー	96.10.21	(SME)
5. ウイングス・オブ・ヴィクトリー	マイケル・ケイメン	96.11.2	(BMG)
6. チェンジ・ザ・ワールド	エリック・クラプトン	96.7.25	(WJ)
7. ワナビー	スパイス・ガールズ	96.6.26	(TO)

■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7

1. インディゴ地平線	スピッツ	96.10.23	(PO)
2. BELOVED	GLAY	96.11.18	(PO)
3. DAHLIA	X JAPAN	96.11.4	(EW)
4. UNDERWEAR	槇原敬之	96.10.25	(WJ)
5. 青空の扉～THE DOOR FOR THE BLUE SKY	浜田省吾	96.11.11	(SME)
6. 11 (イレブン)	UA	96.10.23	(V)
7. MAX 3	ジャミロクワイ 他	96.11.11	(SME)

■クラシックアルバム BEST7

1. クリスマス・アダージョ・カラヤン	カラヤン指揮/ベルリン・フィル	96.10.25	(PG)
2. Vocalise	SLAVA	96.10.23	(V)
3. アダージョ：カラヤン	ベルベルト・フォン・カラヤン指揮/ウィーン・フィル	96.5.25/96.10.25	(PG)
4. 夢のクリスマス～クリスマス・イン・ウィーン	ホセ・カレーラス/ナタリー・コール/ブラジド・ドミンゴ	96.10.25	(WJ)
5. NOW CLASSICS 2	セシル・ウーセ 他	96.11.7	(TO)
6. アダージョ・カラヤンⅡ	ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮/ベルリン・フィル	95.12.20	(PG)
7. 想い出のロングバケーション	角 聖子	96.10.23	(K)

■洋楽アルバム BEST7

1. MAX 3	ジャミロクワイ他	96.11.11	(SME)
2. NOW 5	スパイス・ガールズ他	96.11.7	(TO)
3. ザ・ビートルズ・アンソロジー 3	ザ・ビートルズ	96.10.30	(TO)
4. SPICE	スパイス・ガールズ	96.9.19	(TO)
5. Bowwow 2	スウィング・アウト・シアター 他	96.11.11	(PO)
6. Christmas MAX 2	バーシア 他	96.11.11	(SME)
7. トラベリング・ウィズアウト・ムービング～ジャミロクワイと旅に出よう	ジャミロクワイ	96.11.11	(SME)

※日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/テイチク(TE)/ポリドール(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパンコミュニケーションズ(TJC)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/マーキュリー・ミュージックエンタテインメント(MME)/ポニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/バンダイ・ミュージックエンタテインメント(BME)/フォーライフレコード(FL)/バップ(VAP)/トーラスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファミュージック(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BMG)/NECアベニュー(NA)/メルダック(ME)/TDKコア(TDK)/トイズ・ファクトリー(TF)/パイオニアLDC(PI)/MCAビクター(MV)/ロックイットレコード(RO)/エイベックス・ティーディー(AVT)/ヴァインレコーズ(ZA)/ポリグラム(PG)/ルームスレコーズ(BM)/ビーグラムレコーズ(BG)/ワン・アップ・ミュージック(EP)/カッティング・エッジ(CT)/ヴェルファーレ(VF)/パルコ(QT)

■アルバム (24作品)

【邦 楽】

●トリプル・プラチナ

インディゴ地平線/スピッツ/96.10.23 (PO)

●ダブル・プラチナ

愛すべきものすべてに-YUTAKA OZAKI BEST/尾崎豊/96.9.30 (SME)

空の飛び方/スピッツ/94.9.21 (PO)

amiyumi/PUFFY/96.7.22 (SME)

●プラチナ

BELOVED/GLAY/96.11.18 (PO)

DAHLIA/X JAPAN/96.11.4 (EW)

UNDERWEAR/槇原敬之/96.10.25 (WJ)

青空の扉~THE DOOR FOR THE BLUE SKY~/浜田省吾/96.11.11 (SME)

11 (イレブン) /UA/96.10.23 (V)

CAFE JAPAN/玉置浩二/96.9.13 (SME)

●ゴールド

bertemu/林原めぐみ/96.11.1 (K)

氷/宇徳敬子/96.11.18 (ZA)

BEST∞SPEED/吉川晃司/96.10.16 (TO)

TWINS SUPER BEST OF 荒井由実/荒井由実/96.8.28 (AL)

【洋 楽】

●ダブル・プラチナ

SPICE/スパイス・ガールズ/96.9.19 (TO)

あなたにいてほしい~ベスト・オブ・スウィング・アウト・シスター/スウィング・アウト・シスター/96.2.5 (MME)

●プラチナ

MAX 3/ジャミロクワイ他/96.11.11 (SME)

NOW 5/スパイス・ガールズ他/96.11.7 (TO)

ブレスレス/ケニー・G/92.12.16 (BMG)

●ゴールド

アンソロジー 3/ザ・ビートルズ/96.10.30 (TO)

トライアル・バイ・ファイアー/ジャーニー/96.10.16 (SME)

ジャスティス/SNOW/96.10.10 (EW)

Christmas MAX2/バーシア他/96.11.11 (SME)

BOW WOW 2/スウィング・アウト・シスター他/96.11.11 (PO)

■シングル (32作品)

【邦 楽】

●クワドラプル・プラチナ

チェリー/スピッツ/96.4.10 (PO)

●トリプル・プラチナ

これが私の生きる道/PUFFY/96.10.7 (SME)

●ミリオン

恋心/相川七瀬/96.10.7 (CT)

save your dream/華原朋美/96.10.2 (PI)

●ダブル・プラチナ

YELLOW YELLOW HAPPY/ポケットビスケッツ/96.9.4 (TO)

BELOVED/GLAY/96.8.7 (PO)

田園/玉置浩二/96.7.21 (SME)

NOW AND THEN~失われた時を求めて/MY LITTLE LOVER/96.10.28 (TF)

●プラチナ

PRIDE/今井美樹/96.11.4 (FL)

NICE BOY!/シャ乱Q/96.11.14 (BMG)

SHAKE/SMAP/96.11.28 (V)

旅人よ~The Longest Journey/爆風スランプ/96.9.21 (SME)

未来へのプレゼント/中山美穂 with MAYO/96.11.1 (K)

STEADY/SPEED/96.11.18 (TF)

鏡のドレス/酒井法子/96.10.9 (V)

CIRCUS/布袋寅泰/96.10.23 (TO)

クラシック/JUDY AND MARY/96.10.28 (SME)

Can't Stop Fallin'in Love/globe/96.10.30 (AVT)

●ゴールド

a Boy~ずっと忘れない~/GLAY/96.11.11 (PO)

ロンリー・ウーマン/竹内まりや/96.11.18 (EW)

Alone/岡本真夜/96.11.5 (TJC)

Dreams/FIELD OF VIEW/96.11.18 (V)

激情/工藤静香/96.11.7 (PC)

DEAR...again/広瀬香美/96.11.11 (V)

flower/ランク・アン・シェル/96.10.17 (SME)

Like a Angel/黒夢/96.11.18 (TO)

銀色の夢/森高千里/96.11.11 (EP)

胸がドキドキ/THE HIGH-LOWS/96.2.21 (KT)

SILENT NIGHT/TRF/96.11.6 (AVT)

【洋 楽】

●ダブル・プラチナ

ラスト・クリスマス/ワム!/96.11.21 (SME)

●プラチナ

アルフィー/ヴァネッサ・ウィリアムス/96.11.4 (MME)

美女と野獣/セリーヌ・ディオン&ピーポ・プライソン/92.4.8 (SME)

1. オーディオディスク

単位：数量：千枚・巻、金額：百万円

		11月			実績			1996年(1月～11月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
C	邦洋	18,193	37	135	11,687	20	137	154,630	37	104	97,598	19	105
	計	289	1	33	182	0	43	3,248	1	88	1,792	0	108
	計	18,482	37	129	11,868	20	133	157,879	38	104	99,390	19	105
D	邦洋	17,964	36	77	30,629	51	73	160,544	38	107	277,775	53	107
	計	12,904	26	94	16,844	28	83	98,702	24	98	142,926	27	96
	計	30,868	62	83	47,473	80	76	259,247	62	103	420,701	81	103
アログ	邦洋	36,158	73	98	42,316	71	84	315,175	75	105	375,373	72	106
	計	13,192	27	90	17,026	29	82	101,950	24	98	144,718	28	96
	計	49,350	100	96	59,341	100	84	417,125	100	104	520,091	100	103
合計	邦洋	72	0	141	85	0	116	543	0	192	689	0	175
	計	66	0	129	84	0	81	311	0	161	479	0	127
	計	138	0	135	169	0	96	855	0	180	1,168	0	151
合計	邦洋	36,230	73	98	42,401	71	84	315,718	76	106	376,062	72	107
	計	13,259	27	91	17,109	29	82	102,262	24	98	145,197	28	96
	計	49,489	100	96	59,510	100	84	417,980	100	104	521,260	100	103

2. オーディオテープ

		11月			実績			1996年(1月～11月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
カセット	邦洋	2,211	99	93	1,946	99	82	20,303	99	90	18,049	98	92
	計	25	1	75	18	1	61	228	1	85	276	2	98
	計	2,236	100	93	1,964	100	82	20,532	100	90	18,324	100	92
カートリッジ	邦洋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋	2,211	99	93	1,946	99	82	20,303	99	90	18,049	98	92
	計	25	1	75	18	1	61	228	1	85	276	2	98
	計	2,236	100	93	1,964	100	82	20,532	100	90	18,324	100	92

3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

		11月			実績			1996年(1月～11月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦洋	盤	11,020	100	100	2,185	96	77	72,417	100	142	21,844	98	108
	計	23	0	167	90	4	272	151	0	84	556	2	172
	計	11,044	100	100	2,275	100	79	72,568	100	142	22,400	100	109

4. ビデオレコード

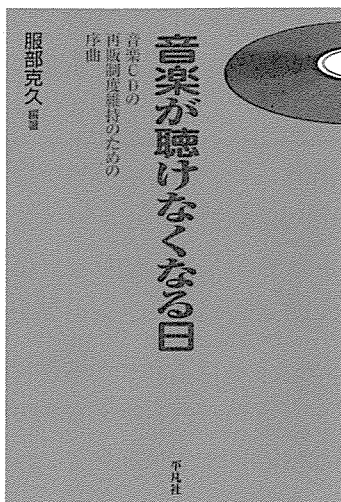
		11月			実績			1996年(1月～11月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	テープ	1,093	33	72	3,087	29	66	11,773	37	87	34,729	33	88
	計	2,254	67	108	7,710	71	91	20,081	63	94	70,413	67	93
	計	3,347	100	93	10,797	100	82	31,854	100	91	105,142	100	91

5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

		11月			実績			1996年(1月～11月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	複合型CD	51,725	78	96	61,474	82	84	438,511	81	103	539,584	81	103
	ビデオ	11,044	17	100	2,275	3	79	72,568	13	142	22,400	3	109
	計	3,347	5	93	10,797	14	82	31,854	6	91	105,142	16	91
合計	オーディオ	66,115	100	96	74,546	100	83	542,933	100	106	667,126	100	101
	ビデオ												
	計												

備考 1. 本年実績は、会員会社「30社」の集計である。
 2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

◆◆◆出版案内◆◆◆



タイトル：『音楽が聴けなくなる日』
編著者：服部克久
出版社：平凡社
価格：1,300円

著作権制度と並んで音楽業界の根幹を成す「再販制度」が、いま激しく揺さぶられています。

そもそも再販制度の意味は何だったのか、なぜいま撤廃論が持ち上がっているのか。なぜ業界は制度の必要性を主張しているのか、などについて作曲家服部克久氏が行なった緊急対談集。音楽業界から広く一般に向けた発言をまとめた初めての本です。

再販撤廃論者による消費者不在の議論を懸念し、表現の自由を強く主張する出版評論家の小林一博氏、リスナーの立場からは音楽評論家の黒田恭一氏と女優の檀ふみさんが対談を行っています。また作り手の立場で、協会再販プロジェクト座長・乙骨 剛東芝EMI社長が、幅広い内容で積極的に発言しています。

再販制度の意義と重要性を理解するために、是非一読を勧めたい一冊です。

不法録音カラオケテープ撲滅キャンペーン実施中。 みんなでなくそう不法録音テープや海賊版。

不法に録音したテープを販売することは法律で禁止されています。

**著作権、著作隣接権の侵害は、
損害賠償の対象及び3年以下
の懲役、又は、百万円以下の
罰金が科されます。**

※詳しくは、下記団体にお問い合わせください。

■社団法人日本音楽著作権協会
〒151 東京都渋谷区上原3-6-12 第二業務局 ☎03(3481)2169(代)

■社団法人日本芸能実演家団体協議会
〒104 東京都中央区銀座1-7 小柳ビル ☎03(3567)8748(代)

■社団法人日本レコード協会
〒104 東京都中央区銀座7-16-3 特別業務部 ☎03(3546)0471(代)

機関誌「THE RECORD」の リニューアルについて

先月ご案内しました通り、今月号より、当協会機関誌「THE RECORD」の誌面を大幅に刷新しました。いかがだったでしょうか。

今後とも、読者の皆様からのご意見、ご感想、ご要望などを積極的に誌面に反映させていただきたいと思えます。お気軽に、どしどし編集部までお寄せくださいますようお願いいたします。皆様からのお手紙、心よりお待ちしております。

THE RECORD 1997年1月号

発行人 高野 宏

編集人 木村 三郎

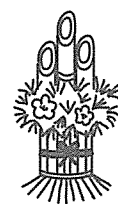
発行日 1997年1月10日

発行 社団法人日本レコード協会

〒104 東京都中央区銀座7-16-3
日鐵木挽ビル2F

TEL 03-3541-4411(代)

FAX 03-3541-4460(代)



■協会会員社（加盟店・創立順）

日本コロムビア株式会社	〒107-11 東京都港区赤坂4-14-14	03-3584-8111
ビクターエンタテインメント株式会社	〒150 東京都渋谷区神宮前4-26-18原宿ピアザビル	03-3746-5550
キングレコード株式会社	〒112 東京都文京区音羽1-2-3	03-3945-2131
テイチク株式会社	〒153 東京都目黒区青葉台-7-7住友青葉台ヒルズ	03-3481-3200
ポリドール株式会社	〒153 東京都目黒区大橋1-8-4	03-3780-8501
東芝EMI株式会社	〒107 東京都港区赤坂2-2-17	03-5512-1700
日本クラウン株式会社	〒107 東京都港区赤坂2-10-8信和ビル	03-3582-4741
株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ	〒105 東京都港区新橋4-10-1大徳ビル	03-5470-8377
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	〒162 東京都新宿区市谷田町1-4	03-3266-5995
マーキュリー・ミュージックエンタテインメント株式会社	〒106 東京都港区六本木4-8-5和幸ビル	03-3479-3711
株式会社ポニーキャニオン	〒104 東京都中央区入船2-1-1住友入船ビル	03-3555-6611
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン	〒107 東京都港区北青山3-1-2	03-5412-3111
株式会社バンダイ・ミュージックエンタテインメント	〒162 東京都新宿区余丁町3-8	03-5379-3500
株式会社フォーライフレコード	〒154 東京都世田谷区池尻3-28-8	03-5430-3106
株式会社バップ	〒102 東京都千代田区四番町5-6日本テレビ四番町別館4F	03-3234-5711
トーラスレコード株式会社	〒150 東京都渋谷区神宮前5-7-20神宮前太田ビル	03-3499-7080
株式会社ポリスター	〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-14-6	03-5721-3211
アルファミュージック株式会社	〒107 東京都港区南青山5-4-40橋本ビル2F	03-5466-2190
株式会社キティエンタープライズ	〒153 東京都目黒区大橋1-8-4	03-3780-8660
株式会社ファンハウス	〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-20-7	03-3792-5200
株式会社イーストウエスト・ジャパン	〒107 東京都港区北青山3-1-2	03-5412-3511
株式会社BMG ジャパン	〒150 東京都渋谷区渋谷1-3-9	03-3797-9020
NECアベニュー株式会社	〒213 神奈川県川崎市高津区久本3-14-1	044-813-9530
株式会社メルダック	〒107 東京都港区北青山2-7-9日昭ビル8F	03-3423-2525
パイオニアLDC株式会社	〒150 東京都渋谷区恵比寿南1-20-6	03-5721-4124
MCAビクター株式会社	〒150 東京都渋谷区神宮前5-52-2JBPオーバル9F	03-5467-9500
株式会社ビーグラムレコーズ	〒106 東京都港区六本木6-8-10	03-3479-2371
エイベックス・ディー・ディー株式会社	〒107 東京都港区南青山3-1-30住友生命青山ビル	03-5413-8550
株式会社ツァインレコーズ	〒106 東京都港区六本木5-2-1	03-3403-2461

1997年1月1日現在加盟社 29社